伊万里ケーブルテレビジョン株式会社様 アーカイブシステム



株式会社朋栄は、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社様(本社:佐賀県伊万里市、i-catv.jp)のアーカイブシステムを更新しました。LTOサーバーLTS-90を導入し、制作年ごとに大容量LTO-9テープへ番組完パケ素材を保存/管理し、Blu-rayディスクで保存してきた過去素材もLTO-9テープへのアーカイブに一元化することで、再利用しやすくしています。



MediaConcierge®との連携により、アーカイブ作業を効率化 大容量LTO-9テープにより、1年分の番組完パケ素材を1本に集約



「2009年に朋栄のファイルベーストータルソリューションMediaConciergeを導入してファイルベースワークフローへ移行したことを機に、2016年の更新時にアーカイブシステムとしてLTOサーバーLTS-60の活用を始めました。」

ファイルベース移行とアーカイブシステム 導入についてこう振り返るのは、伊万里ケーブル テレビジョン株式会社地域メディア部でシス テム主任を務める浜口慶太氏です。LTS-60導 入から7年が経過するタイミングでアーカイブ システムを更新し、最大記憶容量18TB(非圧 縮時)のLTO-9テープを使用可能なLTOサー バーLTS-90を導入しました。

伊万里ケーブルテレビジョン様では現在、番組完パケ素材のアーカイブを中心に、LTS-90を活用し、MediaConciergeで各種素材を管理しています。

「月間の完パケ素材は、2時間番組が2本、30分番組が5本、15分番組が20本ほどになり、合わせて約50時間の番組を制作しています。1年分の番組完パケ素材をアーカイブするためには、

これまで使用してきたLTO-6テープでは5~6本のテープに分ける必要がありました。LTS-90の導入で、大容量のLTO-9テープを使用できるようになり、1年分を1本のLTO-9テープで管理できるようになりました。」(浜口氏)

また、これまでLTS-60でアーカイブしてきた LTO-6テープ30本についても、LTO-9テープ へのマイグレーション作業が完了しています。 高速転送が可能なLTS-90により、アーカイブ のワークフローも改善したそうです。

「弊社では、過去の映像素材から一部を切り出して、ニュース素材として活用したり、振り返り番組の素材として活用したりすることがよくあります。より高速で読み込みができるようになり、業務時間の短縮・効率化につながり、非常に助かっています。」(浜口氏)

■過去の番組完パケ素材もBlu-rayから LTOテープに集約

浜口氏は、LTOサーバーを導入するまでの過去の番組完パケ素材は、Blu-rayディスクに焼いて保存していたと話します。この過去素材は、『ニュース』『コーナーもの』『長尺』などのジャンル別に保存してきており、1ジャンルあたり、約50枚あったそうです。これらのディスクに





写真左:伊万里ケーブルテレビジョン株式会社様はアーカイブ システムを更新し、LTO-9テープを使用したアーカイブに移行 写真右上:更新されたアーカイブシステム。従来のLTS-60もマイ グレーション用として活用

写真右下:大容量LTO-9テープには、1年間の番組完パケ素材が収まる。制作年別にテープを分けて保存している



伊万里ケーブルテレビジョン株式会社 地域メディア部 システム主任 浜口 慶太(はまぐち けいた)様

ついても、LTO-9テープに移すことで、1本で 管理できるようになりました。

「これまでは、どのディスクに入れたかなど、番組素材を探し回るのに時間がかかっていました。 複数本にまたがった1年間の番組完パケ素材を 1本のテープに集約することにより、すぐに把握することができるようになりました。」 (浜口氏)

今後のアーカイブ運用について、浜口氏は次の ように話しています。

「番組制作においては、4Kカメラを使用する ことも増えました。こうした大容量の4K素材 データのアーカイブにも有効活用できそう です。」

【主な使用機材】ファイルベーストータルソリューションMediaConcierge、LTOサーバーLTS-90、素材ファイル管理ソフトウェアLTS-MAM

取材協力: 伊万里ケーブルテレビジョン株式会社 地域メディア部 佐賀県伊万里市立花町 1542 番地 8 TEL: 0120-46-1780 WEB: i-catv.jp お問い合わせ:株式会社朋栄 東京都渋谷区恵比寿 3-8-1 TEL: 03-3446-3121(代) WEB: www.for-a.co.jp E-mail: ad@for-a.co.jp